

担任サポート 動画 ＜2月第2回＞



個人面接 (場面指導編②)



1

場面指導 (いじめ・不登校対応)

2

Bさんから、友達のAさんがいじめられていると相談を受けました。
どのように対応しますか。

いじめ対応のプロセス	
① 事実確認	⑥ 保護者報告
② 安全確保	⑦ 対策実施
③ 上司等報告	⑧ 成果確認
④ いじめ認定	⑨ 再発防止
⑤ 対策決定	



〔事例〕個別・生活・問題
いじめ対策

3

いじめ対応

初期対応	・Bさんから詳しく聞き取る。
事実確認	・Aさんや関係のある教職員、周囲の子供などから情報収集する。
安全確保	・Aさんの安全を確保する。
報告	・学年主任・生徒指導主事等に報告する。
対策検討	・校内委員会の開催を依頼し、いじめの認定と対策方針の決定をする。
事後対応	・対応策に従って指導を行う。解決後は、暫く様子を見守る。 ・道徳の時間などを充実し再発防止に努める。

4

2学期になり、Aさんの欠席が増えてきました。
どのように対応しますか。

不登校対応で留意すること

- 原因究明をていねいに
- 強引な指導は避ける
- 目標設定は、可能な場合
- 特別扱いはしない
- 激励は避け、共感する



（事例）個別・生活・問題
不登校対応

不登校傾向の子供への対応

初期対応	
事実確認	・どの程度休んでいるか確認する。
原因究明	・欠席するようになった経緯等を調べる。 ・原因について、聞き取り調査を行う。
目標明確	・学校に登校することが可能か確認する。 ・無理な場合は、何ができるか子供や保護者と一緒に考える。
対策検討	・対策について本人や保護者と相談する。 ・養護教諭等からアドバイスを受ける。 ・管理職や生徒指導主事に対策を報告し相談する。
事後対応	・本人と保護者に対処策を示し了解を得る。 ・学級の児童生徒と登校しやすい学級づくりについて話し合う。

5

6

場面指導 （保護者対応）

対応の ポイント

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 受容・傾聴・共感 ● 穏やかに丁寧な言葉で ● 内容を整理、確認、言語化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 客観的に事実の記録 ● 安易な肯定や否定NG ● 状況に応じて謝罪も |
|--|--|

対応プ ロセス （例示）

1.主訴確認	保護者が最も訴えたいことを確認・言語化する。
2.要望確認	保護者が担任や学校に臨むこと、して欲しいことを確認する。
3.説明	子供の学校での状況や、学校・学級の方針等を説明する。
4.調査	保護者の訴え内容等について資料・聞き取り等で調査する。
5.報告・検討	保護者からの苦情・依頼内容を学年主任や管理職に報告する。対応内容を検討し了承を得る。
6.保護者連絡	調査結果を報告し、学校での対応について説明する。
7.事後対応	暫くして保護者に学校での状況を報告する。

7

8

保護者から、子供が成績に納得できない
 と言っていると相談を受けました。
 あなたは、どのように対応しますか。



〔事例〕保護者対応
 成績への問い合わせ

保護者からの成績の問い合わせ

主訴確認	・保護者の話をじっくり聞く。 ・評価の納得できないところを明確にする。
要望確認	・保護者が希望することは何かを聞き取る。
説明	・評価の方法を説明する。 ・詳しく調査し返事することを約束する。 ・子供からも話を聞くことの許可を得る。
調査	・生徒の成績資料を確認する。 ・子供から、聞き取る。
報告検討	・学年主任等に対応について相談する。 ・管理職に報告する。
保護者 連絡	・保護者に報告し、了承を得る。 ・了承を得られない場合は、再度話し合いの機会を設定する。